

2026年5月12日

2025年日本国際博覧会で使用された材料を再利用 「岩国開発センター」にラウンジスペースを設置

帝人株式会社はこのたび、2025年日本国際博覧会（以下、大阪・関西万博）の大阪ヘルスケアパビリオンの屋外催事場で使用された高機能繊維強化集成材「LIVELY WOOD（ライブリーウッド）」を再利用し、研究開発拠点である「岩国開発センター」（山口県岩国市）のエントランスにラウンジスペースを設置しました。



「LIVELY WOOD」を使用したパーゴラ（日陰棚）



「LIVELY WOOD」を再利用したラウンジスペース

「LIVELY WOOD」は、炭素繊維と木材を組み合わせることで木材と同等の軽量性と2倍以上の剛性を有する製品です。当社は大阪ヘルスケアパビリオンが掲げた「SDGs への貢献」という目標に賛同し、屋外催事場に設置するパーゴラの材料として「LIVELY WOOD」を同パビリオンに40本提供しました（*1）。

これにより、デザイン性の高い木造のパーゴラの実現に貢献したほか、約3トン分の炭素貯蔵効果（*2）も実現しました。

（*1）帝人株式会社、株式会社中東、清水木材株式会社、福井ファイバーテック株式会社の4社がグループで協賛して提供

（*2）炭素貯蔵効果：木が光合成で大気中から吸収したCO2を、木材として加工された後も、燃やすまでは排出しない効果



「LIVELY WOOD」

「LIVELY WOOD」は、大阪・関西万博の開催期間中、来場者を日差しから守るパーゴラの材料として使用されましたが、閉会後に廃棄せず、「岩国開発センター」においてラウンジスペースの材料として再利用しました。今後は、同センターの来訪者や社員のコミュニケーションや憩いの場として、新たな価値を提供します。

当社は、今後も環境と社会への配慮を軸とした価値創造を通じて、持続可能な未来の実現に貢献するとともに、「地球の健康を優先し、環境を守り、循環型社会を支える会社」を目指します。

以上

【 報道関係のお問合せ先 】

帝人株式会社 コーポレートコミュニケーション部 TEL: (03) 3506-4055